

授業概要

近年、学生自らの進路決定に際し、就業意識の養成や自己分析に基づく適性の把握が重要になってきている。それらは、学生の日ごろの学生生活で養われるものであるものの、キャリア教育や企業等との接点などを通じて気づいていくことも少なくない。そこで、本講義は、教育課程の一環として「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が示した「産学協働による学生のキャリア形成支援活動（4類型）」でいう「タイプ3 汎用的能力・専門活用型インターンシップ」に相当する就業体験を行った学生に対して単位を付与する。

授業計画

第1回	指事前	事前ガイダンス（授業の進め方）・就活本番前に企業等と接する意義
第2回		実習先の企業理解
第3回		誓約書等の書類、ビジネスマナーの確認など
第4回	インターンシップ実習	
第5回		
第6回		参加するインターンシップの条件
第7回		・「産学協議会基準準拠マーク」取得要件と同程度の実習であること
第8回		具体的には・5日間以上（または30時間以上）の実習であること
第9回		・実習期間のうち半分以上が職場での就業体験であること
第10回		・実習先からのフィードバックがあること
第11回		・夏季休業中にインターンシップが終了すること
第12回		・上記またはキャリアセンターと協定を結んでいること
第13回		
第14回	指事後	（報告会）プレゼンテーション（学園祭を予定）
第15回		（報告会）フィードバック
第16回		「レポート（活動報告書）」の提出

※ 内容はおよその目安であり、適宜変更しながら進めます。

到達目標

・インターンシップ実習を通じて、自己分析を深め、また業界や企業への理解を深め、就職活動の準備を進めることができる。

履修上の注意

- ・単位を取得するための実習には条件があるため、登録に際しては、十分確認すること。
- ・「ビジネス社会と出会うⅢ（就活準備）」を履修していることが望ましい。
- ・授業時間以外で事前研修を行うので、そちらにも出席しなければならない。
- ・第2回は7月17日、第3回は7月24日とする（予定）。
- ・特別措置として7月17日（木）まで履修登録の取消を認める。

予習・復習

予習：インターンシップ実習における目標を明確にする。

復習：インターンシップ実習での反省を踏まえ、長所は継続して伸ばし、不安・不満な点は解消・改善のための努力を行う。

評価方法

事前指導などの受講を前提として、実習先の評価30%程度、期末レポート50%程度、プレゼンテーション20%で評価する。

実習先の評価が得られない場合には、期末レポート60%程度、プレゼンテーション40%程度とする。

テキスト

特に使用しない。